

1ヵ月交換 終日・連続装用・治療用シリコンハイドロゲルレンズ

エア オプティクス® EX アクア

AIR OPTIX[®]
EX AQUA
エア オプティクス® EX アクア



レンズの特徴

- 親水性を高め、たんぱく質や脂質などの汚れがつきにくいスマートシールド® テクノロジーを採用
- 高い酸素透過率(Dk/t※¹) 175を実現(-3.00D)
- 最長1ヵ月の連続装用が可能
- 親水性分が保存液に配合され、装用直後から快適なつけ心地※²

基準データ

USAN	lotrafilcon A	製造方法	モールド製法
構成モノマー	ベタコン、TRIS、DMA	カラー	ライトブルー
ソフトコンタクトレンズ分類	グループ I (非イオン・低含水)	中心厚	0.08mm (-3.00D の場合)
酸素透過係数(Dk※ ³)	140×10 ⁻¹¹	刻印	CIBA Z4 (BC8.4mm)、CIBA Z6 (BC8.6mm)
酸素透過率(Dk/t※ ¹)	175×10 ⁻⁹		
含水率	24%		

レンズ制作範囲

ベースカーブ	8.4mm、8.6mm
球面度数 (終日・連続装用)	-0.25D -8.00D -10.00D 0.25D間隔 0.50D間隔 ※治療用はプラスレンズのみ
直径	13.8mm

包装

製品	3枚入	トライアルレンズ	3枚入
----	-----	----------	-----

※1 (cm/sec)・(mLO₂/mLxmmHg) ※2 個人差があります ※3 (cm²/sec)・(mLO₂/mLxmmHg)

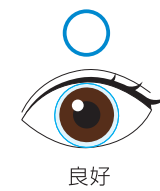
処方手順



① レンズ度数の選択は、自覚的屈折矯正値に近似の等価球面度数を選択してください。等価球面度数が±4.00Dを超える場合は、頂点間距離補正後の値を選択してください。
ベースカーブは8.4mmと8.6mmの2種類、レンズ径は13.8mmの1種類です。(ファーストライアルにおけるベースカーブ選択は、弱主径線値が7.9mm以上の場合にはベースカーブ8.6mm、弱主径線値が7.9mm未満の場合にはベースカーブ8.4mmを目安に選択ください)

① センタリング

正面視、上方視、下方視、側方視の状態において角膜が常にレンズで覆われていることを確認してください。

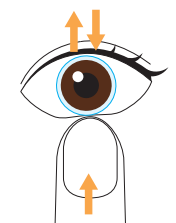


② レンズの動き

正面視、上方視にてスムーズで適度な動きがあるか観察してください。
瞬目時に角膜輪部が露出するような過剰な動きはルーズフィットであり、反対に動きが見られずプッシュアップテストにおいても、スムーズな動きが観察できない場合はタイトフィットとなります。ベースカーブ8.6mmのレンズでルーズフィットの場合は、8.4mmに変更してください。またタイトフィットの場合はドロップアウトとなります。

▶ プッシュアップテスト

正面視させ、下眼瞼縁を指で押し上げレンズを上方に動かしたあとのレンズの動きを確認する方法。レンズがスムーズに動かない場合はドロップアウトとなります。



● 適正なフィッティングが得られていることを確認後、追加補正により、レンズ度数を決定してください。

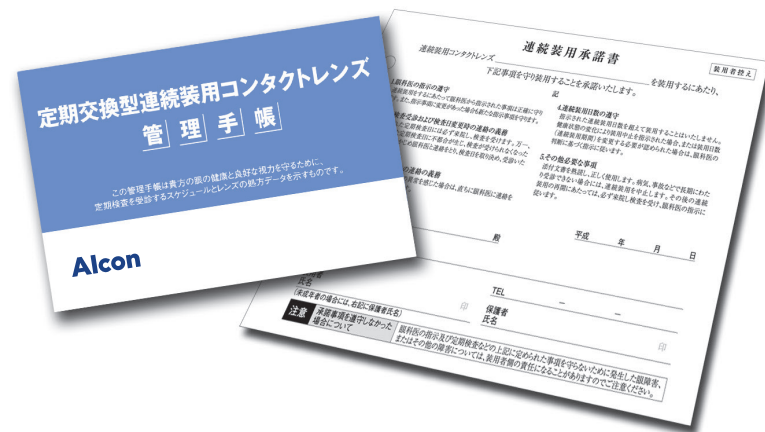
連続装用の処方にあたって

連続装用対象者

- 自分でレンズの装着脱が出来ない方(例:手指の外傷等)
- 職業上、不規則な生活で仮眠をとる方
(例:消防士、医療従事者、フライトアテンダント、育児・介護をされている方)
- 海外出張や海外旅行の機会が多い方
- レンズケア用品によるアレルギー症状がでる方

連続装用者への管理手帳・承諾書に関して

「連続装用」を処方する場合には、必ず患者と承諾書を交わし管理手帳を交付してください。その際、承諾書と管理手帳に記載されている内容を説明し遵守することを確認してください。



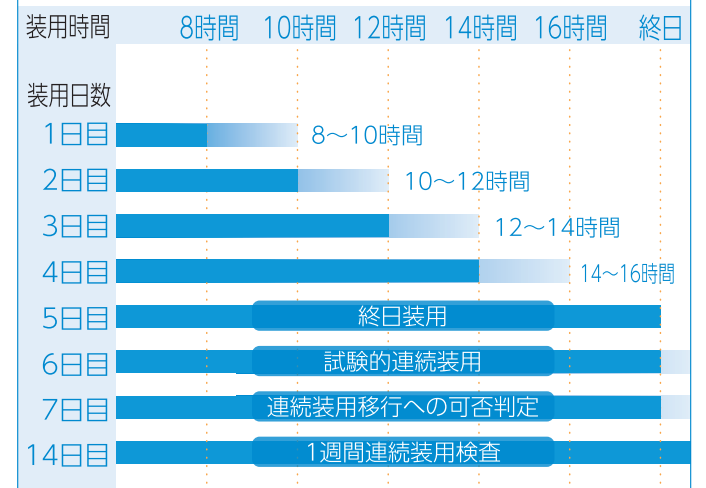
①
処方対象者

②
連続装用に移行
するための検査

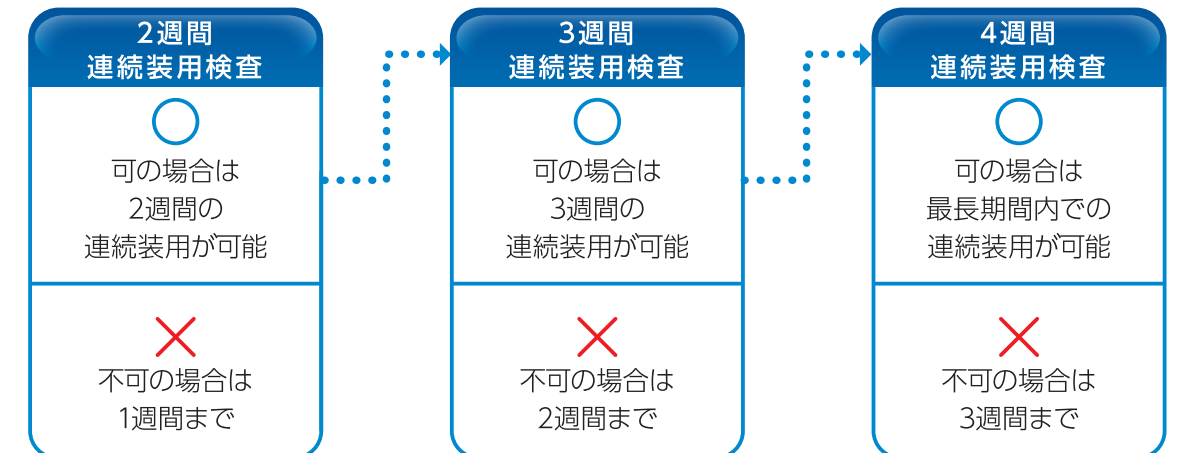
③
定期検査
＜連続装用の場合＞

連続装用を行う場合には、スケジュールによる装用時間延長後に、必ず一晩の試験的連続装用後の検査を実施し、連続装用への移行の可否を確実に確認してください。すでにエア オプティクス® EX アクアを装用している場合には、1日目から試験的な一晩の連続装用に入り、翌日の検査を経たのち連続装用へ移行することも可能です。ただし慣れやすさや適応期間には個人差があるので、患者にあわせてスケジュールを指導してください。

エア オプティクス® EX アクアを初めて装用した後、連続装用にトライする場合の装用スケジュール



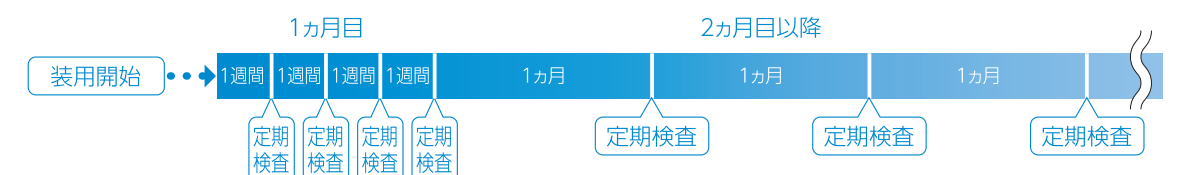
長期の連続装用を希望する患者に対しては以下の可否判定を行い、最長連続装用日数を決定する目安としてください。



連続装用を行うにあたっては、個人差により連続装用日数が異なること、最長期間の連続装用が行えない場合があること、連続装用の合間に終日装用での使用も可能であることを伝達し、絶対に無理な連続装用を行わず、終日装用も併せた装用を指導してください。

1日のみ連続装用が想定される場合、定期検査の前日に連続装用を行わせ、可否判定を行ってください。

一般的な検査スケジュールは装用開始より1ヵ月までは1週間ごとに、それ以降は1ヵ月ごとに定期検査を行ってください。



治療用レンズとして、3つの国内初*

- シリコンハイドロゲルレンズの治療用適用
- 最長1ヵ月連続装用可能な治療用レンズ
- 視力補正効果をもつ治療用レンズ

*2016年アルコン調べ

「エア オプティクス® EX アクア治療用」の使用について

- 本レンズの着脱は原則として医師が行います。
- 本レンズの使用期間は医師が決定します。
- 併用点眼薬の種類、点眼回数、組み合わせ等は医師の判断によります。

● 使用目的、効能または効果

角膜疾患眼の視力補正能も付帯する治療用

※連続装用（最長装用期間 1ヵ月）

● 原 理

1. 包帯効果により創傷治癒の促進と疼痛を軽減します。
2. 角膜の穿孔部位を封鎖することで、前房水漏出を防止し、前房形成に寄与します。

臨床適応対象

● 角膜疾患（疼痛軽減・角膜の保護）

1. 角膜上皮びらん
2. 遷延性角膜上皮欠損
3. 涙液減少型ドライアイ（スチーブンス・ジョンソン症候群、シェーグレン症候群など）
4. 水疱性角膜症
5. 角膜ジストロフィ
6. 角膜穿孔
7. 糸状角膜炎
8. その他の角膜疾患

● 角膜手術（術後眼の保護）

1. 角膜移植術
2. 羊膜移植術
3. 治療的レーザー角膜切除術（PTK）
4. PRK
5. その他の手術

禁忌・禁止

- 眼感染症・その他のレンズ装用に適さない疾患
- 常時、乾燥した生活環境にいる患者
- 粉塵、薬品などが目に入りやすい生活環境にいる患者

適用対象（患者） 禁忌・禁止

医師の指示に従うことが出来ない患者